

思い出に残る成人式

平成16年

成人式記念事業実行委員会

1月11日に行われた成人式の会場に、成人を迎えた人たちの小学校・中学校時代の思い出の写真がパネルに展示されていました。これを作成したのは実行委員会の人たちです。

実行委員会は、各学校から推薦された人を中心に招集されたメンバー7人と、青年団員がアドバイザーとなって結成されました。

話し合いの結果、いろいろな企画が出されましたが、場所の関係や費用の問題などを考慮し、できるだけ多くの思い出の写真を集め、展示することになりました。

写真集めは、メンバーが協力して行いましたが、「最初は、なかなか集まらなくて苦労しました。」「集めながら昔話に花が咲いて楽しかった。」と、活動を振り返っていました。

成人式の1週間くらい前から、パネルに写真を貼り付ける作業などの準備を、夜遅くまで行ってきました。また、当日は受付・会場整理にと、

今月の輝ける星



「思い出に残る成人式」にするため積極的に関わっていました。

毎年、アドバイザーとして協力している青年団は、「今年の実行委員会は、良い意味で個性豊かな人たちが集まりました。自分たちで考え、積極的に活動している姿が見られました。」と話していました。

今年の実行委員は、今後実行委員になる人へ、「自分たちの成人式なので、自発的にやりたいことを企画すれば、必ず良い思い出になると思います。」とメッセージを残してくれた顔には、達成感が満ち溢れていました。

知っていますか？ 上三川町のこんなところ

■ 満福寺のイチヨウ

東蓼沼の満福寺に大きなイチヨウの木があります。樹齢約360年と推定される町内最古のこのイチヨウが、もし話すことができたなら、目の前で起こった多くのことを話してくれるでしょう。

中でも印象に残ったであろう一つの出来事が、幕末の慶応4年（1868）、この木の前で起こりました。今、最もトレンドリーな人、土方歳三が満福寺を訪れ一つの事件を起こしたのです。



幕府再興を図ろうとする幕府軍のうち、土方が隊長を勤める一隊は、宇都宮城を攻めとるべく4月18日にこの寺に入りました。

その日、土方たち一行は、この寺の門前で官軍に味方していた黒羽藩士3人を切り、翌19日に宇都宮へと進軍していったと伝えられています。

イチヨウにとっては関係のない、江戸から明治へという時代の変化。しかし、偶然にも目の前で起こった出来事を、いったいこの木はどう感じたのでしょうか。お時間があったら、そつとイチヨウを訪ねてみてください。

